



令和 8 年 7 月 22 日

報道機関 各位様

稲倉の棚田が「自然共生サイト」に認定されました 認定式&上田市長表敬訪問のお知らせ

【要約】

このたび、上田市殿城地区にある「稲倉の棚田」が、環境省が認定する、「自然共生サイト」（令和 8 年度第 1 回）に認定されました。「自然共生サイト」とは、民間の取組などによって生物多様性の保全が図られている区域を国が認定する制度です。

この制度を通じて自然共生サイトに認定された地域は、上田市内では「シャトー・メルシャン 梔子ヴィンヤード」「HIOKI フォレストヒルズ」に次いで 3 例目となります。

なお、この申請にあたっては八十二長野銀行様にご支援いただきました。



それぞれ当日の取材をお願いします。

■「自然共生サイト」認定式

- ・環境省から稲倉の棚田保全委員会に対して認定証が交付されます

日時：令和 8 年 7 月 28 日(火)10 時 30 分～

場所：稲倉の棚田ウッドデッキ周辺（上田市殿城 2889-1）

出席者（予定）：

環境省 信越自然環境事務所 所長 松本英昭 様 他

上田市 副市長、農業政策課

■上田市長への表敬訪問

- ・稲倉の棚田保全委員会から認定証譲与の報告が行われます

日時：令和 8 年 7 月 30 日(木)13 時～13 時 30 分

場所：上田市役所 4 階 第一応接室

■7/25(土)、8/8(土)には稲倉の棚田で初めての「自然観察会」を行います。

※午後は市民の森でオブスタクルスポーツ体験会を実施予定



■認定サイト（稲倉の棚田）について

サイト名：長野県上田市 稲倉の棚田地区(13.1ha)

活動の種類：生物多様性の維持

申請者：稲倉の棚田保全委員会

サイトの概況：稲倉地区の棚田は、古くから水田耕作が継続されてきた典型的な里地里山環境で、周辺の土手、石積みには草原類の植生が広がり、水田と林縁、農業水路、草地がモザイク状に組み合わさり多様な生息環境を形成しています。環境省や長野県版レッドリストに掲載されている植物や昆虫、藻類、両生類が確認されており、日々の保全管理によりこれら希少種の生育環境が保たれています。

■自然共生サイトとは？

2022年12月の生物多様性条約第15回締約国会議（CBD-COP15）において、2030年までの新たな世界目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択されました。この実現に向けて、わが国では2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標（30by30目標）を位置付けています。ネイチャーポジティブの実現に向けた取組の一つとして、環境省では、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として、認定する取組を令和5年度から開始しました。（環境省HPより）

■稲倉の棚田で見られる希少種の一例

シャジクモ：環境省絶滅危惧Ⅱ類(VU)、長野県絶滅危惧Ⅱ類(VU)

スズサイコ：（環境省準絶滅危惧種(NT)、長野県準絶滅危惧種Ⅱ類(NT)

ナミゲンゴロウ：（環境省絶滅危惧Ⅱ類(VU)、長野県準絶滅危惧種(NT)

アカハライモリ：（環境省準絶滅危惧(NT)、長野県準絶滅危惧(NT)

ヒメシロチョウ：（環境省絶滅危惧ⅠB類(EN)、長野県絶滅危惧Ⅱ類(VU)、など



ヒメシロチョウ



スズサイコ

上田市は「SDGs 未来都市」です。



上田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

本件に関する問合せ先：

上田市産業振興部農業政策課 課長：山田

稲倉の棚田保全委員会 委員長：久保田

✉ info@inaguranotanada.com

TEL 0268-75-4808

※TEL対応（9:00～16:00／月曜定休）